



長島の特産品を小中学生へ

町内5社がジャガイモを寄贈

長島の赤土ジャガイモを取り扱う町内5社（国崎青果、小屋青果、井手青果、エグチベジフル、JA 鹿児島いずみ）が、地元の子どもたちに町の特産品を味わってもらおうと、各社100㎏ずつのジャガイモを町給食センターへ寄贈しました。

5月26日は、そのジャガイモをふんだんに使った「ポークビーンズ」が各小中学校へ届けられました。増田恭太さん（平尾小・4年）は「ポークビーンズがとてもおいしかった。自分の家でもジャガイモを作っているから、これからもおいしいジャガイモが収穫できるように手伝いたい」と笑顔で話しました。



↑おいしそうに給食を食べる児童ら

交通安全ジャガイモ作戦

交通安全はみんなの願い

阿久根地区交通安全協会長島西支部（小林信正支部長）では、交通事故の未然防止を図ろうと、恒例の交通安全キャンペーン「ジャガイモ作戦」を5月3日、役場指江庁舎駐車場で行いました。

この日は、同支部会員や長島ライオンズクラブ、校区婦人部らが参加し、午前9時半からの開会式を終えた後、早速キャンペーンを開始しました。

ゴールデンウィーク期間中で、通行車両が増える中、阿久根警察署の誘導のもと、参加者らは「安全運転をお願いします」「交通事故に気を付けて」などと、ドライバーへ蒸かしジャガイモを手渡し、交通事故防止を訴えました。



↑運転者に蒸かしジャガイモを配る会員ら

春の全国交通安全運動期間

アオサ作戦で交通安全を呼びかけ

阿久根地区交通安全協会長島東支部（石橋親信支部長）では、平成29年春の全国交通安全運動期間に交通安全思想の普及・浸透を図ろうと4月12日、赤崎橋パーキングパークで、交通安全「アオサ作戦」を実施しました。

この作戦には、同支部役員のほか東町漁協、鹿児島相互信用金庫の職員らも参加し、本町の特産品の一つの乾燥アオサとチラシを配りながら、通行するドライバーらに安全運転を呼びかけました。



↑安全運転を呼びかけながらアオサを配布